



自由遊び

ふじの譯

東テキサス州師範大學の練習學校長ビツケット、同大學幼稚園長デュラルテイ、ホーレン著幼兒教育の第一章を譯したのである。吾々幼稚園關係者小學校初學年教師の參考となることが甚だ多いと思はれるから特に本誌に掲載する。

ソーンダイク博士は教育の主なる目的の一つは實に現在の幸福であると陳べて居ります 併し私共は現在の教室と云ふものは何の興味もなく設備も貧弱な不愉快な所で、子供達はこんな教室で教へを受けなければならぬのだと云ふ事を知つて居りますのに、大多數の先生が容易くこの主義を受け入れるであらうとはどうして考へ得られませう、こんな環境ではどんな子供が幸福であり得ませう？

子供達は先生の許しが無くては動き廻つてはいけません。又お友達とお話すると罰せられるのです。要するに子供達は、家庭とも運動場とも又は外のどんな處とも全く異つてゐる教室と云ふものゝ中に入れられてゐるのです。

今日教育に熱心な良い先生は、教室を愉快な所にしよう又子供をも幸福にしようと努力してゐます。子供は氣樂なりのまゝな氣持でゐられる時や又は思ふ存分働いたり又遊んだり歌つたりお話ししたりする事が出来る時に幸福です。又教室は、丸で自分達の家庭の様に温かく面白くあれは愉快なものです。こゝうゆう風ですと低學年の子供は課業がひけても家へ歸らうとしません。毎日午後になると、學校は愉快だからもつと遊んでゐたいと云つて先生の所に願にまゐります。

今日私共はこゝうゆう事を知りました。それは數ヶ月間も子供と一緒に何か仕事をするよりも子供達の遊んでゐる様を見てゐる方がよつほど子供と云ふものを餘計知る事が出来る、と云ふ事です。フレ―ベルは遊びの中に教育的な作きのある事を認めた最初の人でした。この作きをどうゆう方法で發達させるかと云ふ事は、フレ―ベル以後の指導者が考へなければならぬ問題であります。近頃の凡ての兒童教育者は、自由時間についての問題を非常に重要視して社會に向つてその問題を提出してゐます。提出されてゐる問題は一九一八年に開かれた米國の「初等教育委員會會議」で報告されてゐる様に、次の様なものであります。

自由遊びは、子供の成長發展にとつて本質的の價值を持つものであうか。

子供の作業は常に教師が計畫したものでなければならぬであらうか。

子供が發案した計畫に對しては、その實行の機會を與へなければならぬであらうか。

教室の中を駆け廻らなければ出来ない仕事は課さるべきであらうか、又は子供が發案した場合であるならそれは許さるべきであらうか。

之等の問題は、この章で論ぜられるでありませう。

自由とはもはや勝手氣儘と云ふ事を意味しなくなりました。併し他人の邪魔もせず又自分で自分の力やエナジーを制御する事が出来れば、思ひ通りにしても之は自由と云ふ事が出来ます。今日の問題は、子供達は自己を表現したい衝動に驅られてゐるのであるが、この表現の機會を與へるにはどうしてたらいいだらうか、と云ふ問題であります。自由とか自己活動とか云ふ言葉は私共教師のよく使ふ言葉でありませう。自由も自己活動も共に、社會的立場から見ても又は教育的な立場から見ても非常に價値があり又必要であると認められてゐるものを標準として、之に應じる様に指導されなければなりません。近世の幼稚園は保育の一部として自由遊びをさせ、この遊びの間に、今云つた様な指導をしようとして居ります。

自由遊びの古い一つの形式は、始業前の二〇分か又は短い休憩時間でありました。この時には子供達は思ふ存分遊んでもいいのです。或る子供は一人で何かしてゐました、又五六人で何かしてゐました。或子供は自分達の席で何かしてゐました。又他の子供達はお室の隅の方で繪本を見てゐました。この様な自由遊びの形式を採つてゐる幼稚園を參觀した時に、六人の一群の子供はお砂場で遊んでゐました。

三人は繪本を見てゐました。或る兒はボールを蹴つてゐました。或る兒はゾーキンをかけてゐました。二人の兒はお花に水をやつてゐました。又他の二人は南京玉をつないで居りました。四人は自分の席でお繪書きをしてゐました二人の子はお人形のお家の家具を拵へてゐました。

自由遊びの他の形式、それは殆ど自由遊びと云ふ事が出来ないのですが、材料を與へられた自由遊びであります、課された仕事です。しまつた後で残つてゐる材料は子供の好きな様に使つてもいいのです。此形式の自由遊びに於て、子供に與へられるところのたゞ一つの自由は、この材料を用ひて何を拵へるかを決める事、でございます、子供はちやんと自分の席についてゐなければなりませんので身體的自由は持つてゐないのです。子供は自分の席に着いて居つて紙の椅子を作る様に課されてゐるのです、課業後の自由遊びの時には大抵の子供は前と同じ様に紙の椅子を拵へるか又は前の課業の時に命じられてゐる何かを作りつゞけます。或る子供は自分の材料でもつていろいろな事をして見るのを、自由だと感じる様に思はれます。子供は紙を折つたり又はのそり／＼と切紙をしたりいたします。そして出來た變な恰好のものを自分でお猿さんだなど、云つて居ります。

自由遊びの第三の形式それは大抵の幼稚園や小學校の低學年で用ひられてゐるのですが、一週一度の自由日であります、そして自由日には子供は、午前中自分の好きな仕事でも、遊びでも何でもしてもいいと許されてゐるのです、之は自由の無いのよりは良いが併し其週に於て一定の時に自由を強

ひてゐるのであつて、眞の自由ではありません。自由日の様なやり方に適應しない中に、一週四日と云ふものは前の様なやり方に歸らせられてしまふのであります、その結果は分解であり混亂であります、子供達は迷つた様な失神した様な状態になります、丁度大きなボンボンを、一生懸命に手を伸して捕へ様とすると、グット洩かれてしまふ様な状態です。

自由遊びの一番良い形式は、毎朝の自由遊びであります。自由遊びは保育の一部でなければならぬいし又その日のプログラムの中で最も注意して計畫され組織されたものでなければなりません。先生は自由遊びは各兒の發展の爲にどうゆう風であればいゝかと云ふ事を知らねばなりません。

そして良い結果を得る様に子供の周圍をいろ／＼に工夫してやらなければなりません。又先生は子供の爲に、良い刺戟となる材料や新しい興味を惹起する材料、及び技術の練習となる様な材料でもつて、子供達の周圍を充してやらねばなりません。個人として又社會人として良い習慣を持たせるには幼時より準備をしてやらねばなりませんから。自由遊びの時の良い活動からは良い習慣が、形成されるものであります、幼稚園や小學校の低學年に自由遊びが必要であると云ふことを主張する人にとつて、之はどんなに力強い辯護をし、確かな證據となる事でせう。(未完)